

町の考えを問う!

一般質問に 4人が登壇

3月定例議会では、4人の議員が一般質問を行いました。その中から主な質疑応答の要旨を、質問した議員の要約により掲載します。

なお、会議中の発言と答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(5月下旬掲載)

▶伊奈町議会ホームページ
<http://gikai02.kaigiroku.jp/ina/>

ページ	質問議員	質問事項
10	大沢 淳	<ul style="list-style-type: none"> ●町の将来にかかわる国の動向と町長の姿勢 ●町にかかわる雇用の改善 ●小針北小の児童増加への対応と文科省がすすめる少人数学級への対応
10	永末厚二	<ul style="list-style-type: none"> ●地域福祉計画について ●介護保険第5期に向けて ●今後の農業政策について
11	水上邦雄	<ul style="list-style-type: none"> ●介護保険制度の充実を ●高齢・障がい・認知症対策を ●住宅リフォーム制度の実施を
11	村山正弘	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども手当について ●新生活運動について

町内循環バスいなまるの更新はこれまでの町民の要求をかなえるものか

当面現状のまま更新したい

ながすえこうじ
永末厚二 議員

問 「いなまる」について、これまで、もう一台のバスの増車を予算化しながら、三菱の問題として凍結、計画もたち切れ

になつた、改善の要望やデマンドバスや民間の活用など要求も出ている。小型にして南北2台方式もあるのでは、入れ替え

の方針と具体策を伺いたい。
答 「いなまる」は運行開始から9年目を迎えた、老朽化が進んでいるので新規車両と入れ替える。運行許可を取ることや車両制作期間もあるので、当面現行の運行ルートと時刻で実施したい。

「ゆめくる」のトレーニングマシン全面更新によって改善される点は

良い。最近、故障が多いとか、待ち時間が長いと聞く。今回の更新で改善されるものは。
答 近年無料で利用でき65歳以上の利用者が多く、21年度では36・2%と多くなっているため、高齢者にも優しいマシンにする。

ランニングマシン(ジヨグ)を3台から4台に増やす、運用において、待ち時間が原因で利用者にストレスがたまらないよう留意する。



ゆめくるトレーニング室のマシン

「市と同等の活力」とは

近隣市と同等の施策を展開



おおさわ じゅん
大沢 淳 議員

町の将来

問 市制への移行は。

答 国勢調査で県内1位の人口増加率だったが、人口4万2千463人で市への移行要件には満たない。

問 民主党の補助金の一括交付金化の問題は。

答 自治体の自主性の向上を前提と理解するが、国の財政の縮減に重点が置かれることは強い危惧を持っている。

小針北小の児童増加

問 今後の児童数、学級数の予測は。

答 自然数による推計は来年度児童数1千159人・



児童の増加する小針北小

学級数32学級になる。
平成27年度が児童数の最大値で1千365人、38学級になる。

問 教室不足が発生する際の対応は。
答 特別教室の転用や校舍を改修するが、総合的に勘案して検討したい。
問 このことに関する保護者、児童、学校の声は。
答 さまざまなうわさや憶測が飛び交っている。教育委員会として説明を。
問 マンモス化に伴う通学区域の変更や施設・設備等の不足、教育指導のマイナズ等を危惧する声もあるが、現時点では説明は控えたい。

地域福祉計画は、どのように策定するか

幅広い町民に参画いただき平成26年度までに策定



ながすえ こうじ
永末厚二 議員

問 これは、大変スケールの大きい計画だ。直ちに策定の開始を求めているわけではない。庁内での、計画策定の状況は、その手順は、その策定目標を何年度とするかを伺う。

答 平成26年度までに策定していく予定。
策定に当っては、住民や社会福祉に関する活動を行う方等、幅広い町民の方々に参画いただき、できるだけ多くの時間をかけて議論することが重要であると認識している。今後庁内各課を縦断する組織のほか、地域住民の皆さまが参加する会議等

を組織していきたいと考えている。

地域支え合い体制づくり事業への手上げは

問 政府は、本年度補正

予算で、地域支え合い体制づくり事業に200億を各県へ配分した、当町はその取り組みに手を挙げて
いるか。
答 地域支え合い体制づくり事業については、「地域活動の拠点整備」、「人材育成」などが挙げられている。今後、具体的な内容等について、示されると聞いており、その後、具体化したいと考えている。
その他、介護保険第5次の取り組み、今後の農業政策について質問しました。



ささえあい(イメージ)

住宅リフォーム助成制度の実施を

耐震改修工事助成を検討している



みずかみひろし
水上邦雄 議員

問 国・県の助成制度は、
答 低利の融資制度や固定資産税の減額等がある。

問 応じたサービスの提供を、
答 画一的な理由で利用制限はしないよう指導し

問 基金残高1億3千万円を超える。保険料の引き下げを。
答 可能な限り基金を繰り入れ保険料上昇の抑制を図っていく。

地域包括ケアについて

問 24時間巡回型訪問複合型事業所の必要性の認識は。

答 サービスの一つとして必要と認識している。

問 生活支援はニーズに



特別養護老人ホーム伊奈の里

ている。

問 40歳以上の末期がん患者の介護認定は。

答 申請から認定まで短くする配慮をしている。

高齢・障がい・認知症対策を

問 生活実態調査を。

答 介護・障害それぞれアンケートを実施する。

問 家族・介護者支援を。
答 介護者が抱えている問題解消のため、さらに充実を図っていく。

「子ども手当について」自治体負担分について町の見解はどうか。

町民への配慮から町負担を含め全額を当初予算に計上した



むらやままさひろ
村山正弘 議員

問 町負担分はいくらが見込まれるか。
答 1億3千395万円が見込まれる。

保育所費・給食費徴収

問 公立・民間保育所との取扱いの違いはあるか。
答 認可保育所は公立と同じ扱いである。

問 給食費滞納金徴収についてはどうか。
答 対象範囲や年度区分が明確になった段階で検討する。

新生活運動について

問 慶弔行事の新生活運動内容の実態はどうか。
答 昭和58年1月から葬



子ども手当対象の中学生（伊奈中学校）

い。
参加者に酒席の接待を行わない。
お返しは行わない。

を取り決め町民の協力をいただいた。

問 「広報いな」などで広報展開すべきでは。

答 新しい町民も増えているので、広報やホームページなどに掲載し協力を依頼する。

問 実態はどうか。
答 全死亡届提出者の内42%が新生活運動を実施しており定着している。

備の簡素化」が実施された。
香典を2千円以内とする。
個人として供花をしない。